

歯科予防処置論

[講義・実習] 第2学年 前後期 必修 2単位

《担当者名》歯学部准教授 / 松岡 紘史 歯学部講師 / 村田 幸枝
専任教員 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 秋元 奈美 / 山形 摩紗

【概要】

歯科予防処置は、患者の健康管理の一手段であることを実際の患者実習により体験する。また、一年次の基本訓練・マネキン訓練・相互実習を基盤として、臨床や現場活動の中で患者の様々な変化に応じた状況判断のもとに、総合的に対応できる能力を養う。歯科予防処置の実施については、口腔衛生学や歯周治療学、衛生・公衆衛生学、衛生行政及び社会福祉、保健指導との関連性を重視して総合的に対応できる資質を習得する。

【学修目標】

臨床現場で行われる予防処置業務に対応するために必要な知識や技能や態度を身につける。

歯・口腔に関する検査を実施する。
検査結果から客観的情報を収集する。
収集した情報から指導計画を立案する。
患者の安全に配慮した歯石除去を実施する。
患者教育を実施する。
患者の口腔内に応じた操作を工夫する。
偶発事故の予防および対応について説明する。
う蝕予防処置方法について具体的に述べる。
う蝕リスク検査の方法を具体的に述べるができる。
う蝕リスク検査を実施する。
フッ化物集団応用を実施する。
歯面清掃器の利点・欠点を説明する。
歯面清掃器を利用した施術を実施する。
グループワークに積極的に参加する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	オリエンテーション 1年間の講義・実習の流れを理解する。 各実習の一般目標、行動目標を理解する。 う蝕リスク検査実習の概要、注意事項を理解する。	岡橋 智恵
2) 3	う蝕リスク検査	実習 う蝕リスク検査の目的を再確認する。 う蝕リスク検査の具体的な方法を相互実習で理解する。 3年生が実施する1年生への指導をとおして、患者の口腔内の現状や抱えるリスクを把握し、指導計画を立案する過程を学ぶ。 う蝕リスク検査の結果を分析する。 分析結果を患者指導に利用する方法について学ぶ。	松岡 紘史 村田 幸枝 岡橋 智恵 大山 静江 千葉 利代 山形 摩紗 秋元 奈美
4) 8	口腔内観察（講義） 相互実習 グループワーク	講義 口腔内観察に使用する器具・器材を理解する。 医療面接の問診事項を理解する。 修復物、補綴物の略語を理解する。 歯列の状態、咬合状態、歯肉の状態の確認方法を理解する。 ポケットプロービングの検査方法を理解する。 PMA、PI、GI検査方法を確認する。 動揺度の検査方法を確認する。 歯垢染色方法を確認する。 記録用紙への記載方法を理解する。	岡橋 智恵

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<p>相互実習 口腔内観察に使用する器具・器材を準備できる。 患者を安全に誘導できる。 医療面接ができる。 口腔内の修復物、補綴物を確認できる。 歯列の状態、咬合状態、歯肉の状態を検査できる。 ポケットプロービングの検査ができる。 PMA検査ができる。 動揺度の検査ができる。 歯垢染色ができる。 染色部分の確認ができる。 患者に必要な口腔清掃方法を指導できる。</p> <p>グループワーク 主観的情報と客観的情報を整理できる。 口腔内の情報と模型の情報を照らし合わせることができる。 情報を分析することができる。 患者に必要な口腔清掃指導を計画することができる</p>	
9) 14	超音波治療器とルーペを使用した 歯石除去（講義） 超音波治療器とルーペを使用した 歯石除去（演習） 超音波治療器とルーペを使用した 歯石除去（相互実習）	<p>講義 超音波治療器の原理について理解する。 超音波治療器の使用法について理解する。 ガリレアンルーペの取扱いを理解する。</p> <p>演習 超音波治療器の接続・設定ができる。 超音波治療器の設定確認ができる。 チップの取り付けができる。 超音波治療器を正確に操作することができる。 超音波治療器の片付けができる。</p> <p>相互実習 術者役はガリレアンルーペの取扱いを習得する。 ・取り付け方 ・焦点の合わせ方 ・姿勢 ・保管方法 ガリレアンルーペを使用して歯石除去をする。 ・口腔内診査 ・プロービング ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 対象にガリレアンルーペを使用した歯石除去を実施する。 ・口腔内診査 ・プロービング ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・患者指導 補助者役は診療補助をスムーズに行う。 ・器具・器材の準備 ・診査表の記録 ・患者対応 見学者は診療の流れを確認すると共に、他人の歯石除去の方法や歯科診療補助の方法を考察する。 感染予防対策に留意した行動ができる。</p>	岡橋 智恵
15	審美歯科治療について（講義）	講義	千葉 利代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
16		審美歯科における基本的知識（形態と色調、機能と心理、加齢・老化）について理解する。 ホワイトニングの基礎的知識（分類、適応症・禁忌症、メカニズム）について理解する。	
17	歯面清掃器の操作法・PMTC実習	講義 歯面清掃器（エアーフロー）の特徴、安全上の注意事項、使用上の注意事項について理解する。 歯面清掃器の取扱い方法を理解する。 歯面清掃器の組み立て、清掃材の挿入方法、後片付けについて理解する。 操作上の注意点を理解する。	岡橋 智恵
18 (19	歯面清掃器の操作・PMTCのマネキン実習	マネキン実習 マネキンを使用し、歯面清掃器の操作方法を体得する。 歯面清掃器による歯面研磨 使用器材の準備ができる。 歯面清掃器の準備ができる。 バキューム操作方法の工夫ができる。 歯面清掃器のノズルの噴射方向を工夫することができる。 専用パウダーの補充ができる。 噴射後の口腔内洗浄ができる。 歯面清掃器の片付けができる。 患者指導ができる。 PMTC実習 歯間部に研磨剤を注入することができる。 エバコントラを使用した操作ができる。 ポリッシングカップ、チップを使用した操作ができる。 フロッシングをすることができる。 口腔内洗浄ができる。 患者指導ができる。	岡橋 智恵
20 (23	小窩裂溝填塞法について（講義） 小窩裂溝填塞法（基礎実習） 小窩裂溝填塞法（相互実習）	講義 小窩裂溝填塞の目的、特徴、適応やう蝕抑制効果を学ぶ。 小窩裂溝填塞法の術式及び注意点について理解する。 小窩裂溝填塞に使用する器具・薬剤について理解する。 術後の患者指導について理解する。 実施上の注意点について理解する。 基礎実習 ラバーダム防湿法の確認をする。 多数歯露出法ができる。 補助者との共同動作ができる。 相互実習 相互実習により小窩裂溝填塞を実践する。 ・使用器具、器材の準備 ・施術歯の選択 ・ラバーダム防湿 ・歯面清掃 ・歯面処理 ・小窩裂溝填塞 ・光照射	岡橋 智恵

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		<ul style="list-style-type: none"> ・咬合調整 ・患者指導 リコールを含む処置後の注意点を説明できる。 感染予防対策に留意した行動ができる。	
24 ～ 25	フッ化物の集団応用	集団応用の場面において、実施される処置法の種類と方法、特徴等を理解し説明することができる。 トレー法、イオン導入法、スポンジマウス法、洗口法が説明できる。 現場活動としての前準備、実施時の注意点及び対象年齢について具体的に述べるができる。 フッ化物洗口法の公衆衛生としての特徴や、用いられる溶液と濃度、実施手順を説明することができる。 毎日法、週一回法の薬液濃度の違いや、作用機序、対象年齢や誤飲への対策等を具体的に述べるができる。 洗口液を作成し、実際の洗口法を実施することができる。	岡橋 智恵
26	定期試験対策	定期試験範囲の復習ができる。	岡橋 智恵
27 ～ 30	到達度試験オリエンテーション 到達度試験 ・医療面接 ・口腔内観察 ・ポケットプロービング ・超音波スケーリング ・手用スケーリング ・歯面研磨 ・患者指導	到達度試験オリエンテーションを理解する。 歯科衛生士が行う歯科予防処置が実施できる。	岡橋 智恵 秋元 奈美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験80%、提出レポート10%、実習態度10%

【教科書】

歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」

歯科衛生学シリーズ「保健生態学」

歯科衛生学シリーズ「歯周治療学」

【学修の準備】

- ・実習時に忘れ物をした場合、実技ができなくなる場合があるため必要な使用器具・器材は必ず持参すること。
- ・実習には指定された制服を着用し、身装を整えておくこと。

[授業時間外学習]

予習：30分...講義に関しては関連する教科書を事前に読み予習しておくこと。実習の際は実習要領プリントを熟読し理解しておくこと。

復習：30分...講義後は教本・講義資料を確認しまとめておくこと。実習後は各自の実習を考察しレポートに記載して提出する。

【実務経験】

村田 幸枝（歯科医師）

松岡 紘史（公認心理師）

岡橋 智恵（歯科衛生士）

秋元 奈美（歯科衛生士）

千葉 利代（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床現場での実務経験を活かし、う蝕予防処置検査の実際や予防的歯石除去の実際を講義・実習する。